

国際ロータリー 第2500地区 第4分区

遠軽ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3145回例会記録

日時：2024年12月 5日(木)12:30~

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：高井 一博 SAA

★開会点鐘：高橋 義詔 直前会長

★国歌：-

★Rソング：奉仕の理想

★四つのテスト：朝長 賢一 君



2024-2025年度 国際ロータリーテーマ

Weekly Report No. 21

2024~2025

本日のプログラム

12月12日(木)12:30~
クラブフォーラム
年次総会/会員卓話

次回のプログラム

12月19日(木)18:00~
夜間例会
クリスマス家族会

小谷典之RID2500ガバナーズローガン：ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために

乾 淳 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：歴史と誇りを胸にさらなる発展を！

会長報告 高橋 義詔 直前会長③

本日は北海道新聞社遠軽支局長の柳澤郷介様②、同じく北見支社営業部の飯塚晴香様①をお迎えしてのゲスト卓話です。本日は宜しくお願いたします。

最近の話題ですが 11月25日にメトロプラザにて遠軽高校吹奏楽局が主催する遠軽高校ラグビー部、花園壮行会に出席させていただきました。今までになかった企画で、多くの町民も参加されていてまさに町をあげての応援という雰囲気にもまれ、私も感動しました。

今月に入ってからマイナ保険証が施行されましたがどうも欠点ばかり伝えるている報道が気になっています。便利な点もあるのですから、もう少し利用促進できるような報道がされれば良いのではないのでしょうか。

次に次年度クラブ役員並びに理事についてですが、11月28日開催の理事会において次年度クラブ役員と理事を選出する方法を諮ったところ、指名委員会の設置を決定し、委員長には遠藤会員、委員には上田会員、石井会員、木村会員、大西会員とすることを決定しました。来る12月12日に開催される年次総会にて次年度クラブ役員並びに理事を発表して頂ますのでよろしくお願いいたします。

幹事報告 石井 朋子 幹事

1. 理事会報告。(1)12月例会プログラム
 - 12月5日 ゲスト卓話 北海道新聞社 柳澤遠軽支局長・北見支局、飯塚晴香様
 - 12月12日 クラブフォーラム(年次総会)
 - 12月19日 夜間例会(クリスマス家族会)
 - 12月26日 会員卓話(出席委員会担当)
- (2) ガバナー事務所より、2025-26年度 地区役員ロータリー平和フェロシップチーム委員長に東海林会員推薦依頼、理事会にて承認
- (3) ライオンズクラブ様より、クリスマス家族会の案内(12/18開催)会長出席(御祝)
- (4) 12月21日開催：ひまわり学園クリスマスパーティー；家庭学校クリスマス礼拝・晩餐会案内；北光学園クリスマス会案内：全て欠席。(御祝)
- (5) 新年号ふぁみりー本年も広告掲載
2. ガバナー事務所 財団室NEWS12月号、回覧
3. RI疾病予防と治療月間リソースの案内、回覧
4. 2005-06年度 合田賢二ガバナー(帯広北RC)訃報
5. 今月のロータリーレート=1\$150円

委員会報告

- ◇長嶋 宏明 親睦活動委員長
 - ・クリスマス家族会の申込締切は12月12日です。



- ・12月の結婚記念日、おめでとうございます。上田 稔君⑤ 佐藤直也君④ 渡邊博行君
- ・12月の誕生日、おめでとうございます。黒坂貴行君⑥ 高橋義詔君③ 乾 淳君

◇木村 一則 65周年事業実行委員会幹事
配布の周年事業の決算報告書をご確認下さい。決算を5万円程超過、その理由は各委員会が積極的に会議を開催したので事業が盛上がったと思います。

◇前田 篤秀 会員(ラグビー部OB会会長)
遠高ラグビー部が昨年に引き続き12度目の花園出場を決めました。その際にロータリーの皆さんに大変ご支援を頂いて、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今、選手の皆さんも花園に向けて厳しい練習に耐えて花園1勝を目指して頑張っておりますので、これからも応援のほど宜しくお願いします。

本日のプログラム ゲスト卓話

大西 孝拡 プログラム副委員長

本日のゲストは北海道新聞社の柳澤遠軽支局長と北見支局の飯塚様(北見ローターアクト)がいらっやっています。

地元版でラグビーの応援リレー企画が始まっていますのでいいタイミングと思います。(卓話は【2面へ】)【名前等の○数字は写真とその中の番号】

北海道新聞のこれから～紙離れとデジタル戦略

北海道新聞社遠軽支局長 柳澤 郷介②

皆さんこんにちは。今年4月に遠軽に赴任してきました。また、改めまして65周年おめでとうございます。10月26日の記念式典には、私もお招きいただきまして、その後の祝賀会のみならず、二次会、三次会、締めラーメンまで一緒にいただきまして、今日こうして皆さんともう一度お会いできることをすごく楽しみにしておりました。

本日のテーマとして、やはり北海道新聞、新聞業界が直面する現実を皆さんにもお伝えして、理解していただかないといけないところもあるのかなと思って、北海道新聞のこれから紙離れとデジタル戦略というふうにテーマを設定させて頂きました。

私は2002年、大学新卒で北海道新聞に入りました。新聞記者を目指した理由は何かといいますが、ぶっちゃけて話しますと、何となく楽しそうだな、給料が高そうだな、マスコミってモチそうだなと思って新聞記者を目指したのが正直なところです。

今、入社から25年近くになるんですけども、北海道新聞の販売部数はどんどん減り続けています。じわじわというよりも加速度的にここ最近はずいぶん勢いで減ってきているのが現実です。私が入社する直前の2002年12月だったと思うんですけども、北海道新聞は過去最多の125万部を達成したんですけども、今年は80万部を割り込むような、現状約4割減ですね。

結局、部数減というのは、販売所の売上げの減少につながりますし、広告の収入減になってきます。取材現場ではどうかというと、影響力が低下してきているというのが現実です。昔は道新の名刺があればどこでも取材できたというのが20数年前まであったんですけども、最近は新聞を取っていないし、読んでいないしという人が増えてきているのも現実です。

一方で、SNSが力を持ってきて、誰もが情報を発信できる世の中になってきた。その結果、何が起きているか、やはりマスコミとしてしっかり見つめなきゃいけないと思います。というのは、我々新聞やテレビに対しての不信感が高まってきているのが現実だと思います。先日の兵庫県知事選挙、皆さんご存じかと思うんですけども、大方の我々オールドメディアの予想に反して、パワハラだと批判されていた齋藤さんが再選されました。それもやはりSNSの力というのが社会に大きな影響を及ぼしている証拠なんだというのは私自身も感じています。

それでも私も不純な動機で新聞記者を始めましたけれども、地方では特に縁があるって感じるんですけども、やはり田舎こそ新聞社の記者としてやるべきことがあるんじゃないかなというふうに感じます。遠軽・佐呂間・湧別の3町を私が担当しますけれども、私と支局員の今井と二人で担当していて、テレビ他のメディア、全国紙含めて、私と今井が取材しなければ、ほとんど取材する人っていないんですよね。よっぽどのことがない限り、この地域にマスコミの人間が入ってくるってないんですよね。皆さんが頑張っていってほしいこと、企業さんの営みとかというのは、私たちがいなければ世の中に伝わらないんじゃないかなという気概を持って、私は今井支局長と頑張っています。

その上で、北海道新聞が生き残るためにどうしていくか、新聞業界の生き残り、業界全体として今どういう動きがあるかというのは、やはりデジタル配信の強化ですね。デジタル、デジタルと言われてますが、うちの業界ははっきり言って遅れていると思うんですけども、やっとここ最近何とか収益化できてい

るような、マネタイズできているような形にはなりつつあるのかなというのが実感です。現場の記者としてどうなっているのかということをお話しますと、これまでは紙ファーストでした。特ダネがあったときは、まずは紙で伝えるというのが我々の常識でした。それがここ2、3年の間に特ダネもデジタルファースト、とにかくニュースはデジタルで早く出せというふうに変わってきています。

では、北海道新聞はどういう取組をしてきたかって説明させていただきますと、まず道新電子版というのが2014年6月にスタートしました。ブロック紙の中では電子版を始めたのは一番早かったというふうに私は聞いています。そこから、去年の1月、テレビとか折り込みとかでも宣伝させていただいていると思うんですけども、北海道で北海道新聞デジタルというものを創刊したんですよ。道新電子版と北海道新聞デジタルって何が違うかということ、大きく2点ございまして、道新電子版というのはあくまでも購読者に対するサービスだったんですけども、北海道新聞デジタルというのは、新聞を取っていただいている人でも月3,300円払っていただければ、北海道新聞のデジタルコンテンツを見て頂けるという仕組みをスタートさせました。

そこでチラシも配らせていただいたんですけども、北海道新聞デジタルというふうなものがあるかと言いますと、詳しくはこのチラシを見ていただきたいんですけども、やはりデジタル版だと、我々コンテンツを作っている側から言っても無限の可能性があると思うんですけども、原稿はいくら書いてもいい、動画も出している、写真もいっぱい出せるから、そういったところでいろいろと現場の、特に若い記者なんかは、これまで新聞の枠に収められていたものから脱皮して、よりクリエイティブなコンテンツを作ろうということが今進み始めているんじゃないかなというふうにおじさん記者は思っています。

今、北海道新聞として取り組んでいることを一つご説明させていただきますたいんですけども、今日皆さんに頑張れ！遠軽高校ラグビー応援リレーという記事をお配りさせていただいたんですけども、ここにQRコードがございましてね。そのQRコードにちょっとスマホをかざしていただければ、こうする形でアドレスが出てくると思うんですけども、こういった形で遠軽高校のラグビー部員の選手の一覧というのが出るような仕組みを、今回挑戦的にやらせてもらいました。そういった形で紙とデジタルというのを連動させて、やはり僕らは地域の皆さんの支持がないと生き残っていけないと思うので、僕らは皆さん、地域と一体となって取材をしていきたいというふう考えています。

今後とも北海道新聞としては、何か地域にできることがないのかなということもいろいろと試行錯誤しながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX 長嶋 宏明 親睦活動委員長

上田 稔君	結婚記念日、誕生日	10,000円
佐藤直也君	結婚記念日	5,000円
黒坂貴行君	誕生日	5,000円
高橋義詔君	誕生日	5,000円
2024-25年度合計		323,000円

☆閉会点鐘：高橋義詔直前会長 ☆今号会報担当：木村一則委員
2024-25_21st_03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
出席委員会	11月28日	46	44	27		61.4%	
	12月5日	46	44	27		61.4%	

編集・発行：メディア委員会	
委員長：佐藤直也	副委員長：東海林勉
委員：加藤幸徳	木村一則 西 清治
前島英樹	宇野 勝

2024-2025年度 国際ロータリー
会長：ステファニーA.アーチック(アメリカ)
第2500地区ガバナー：小谷典之(帯広西RC)
第4分区分ガバナー補佐：山中憲一(紋別港RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：乾 淳 副会長：金谷正一
会長エレクト：大西孝弘 幹事：石井朋子
会計：島田光隆 S A A：高井一博
直前会長：高橋義詔 事務局員：西野真那美
◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

Rotary



【事務局】〒099-0415北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail:info@engaru-rc.com
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)